

新学術領域研究「構成論的発達科学」(領域代表: 國吉康夫 東京大学教授)では, 下記の要領で一般公開シンポジウムを開催いたします。胎児期からの認知発達の原理や自閉症などの発達障害を, 工学, 医学, 認知科学, 心理学, 神経科学, 当事者研究を融合することで, 学際的かつ構成論的に議論することが目的です。参加費は無料, 参加登録はメールにて受け付けております(下記参照)。皆様, 奮ってご参加いただきますよう, よろしく願いいたします。

=====

■ シンポジウム「発達の原理と障害の理解に向けて」

会期: 2014年3月15日(土) 13:00-16:40

会場: 東京大学駒場キャンパス 数理科学研究科棟大講義室

参加申込: 件名を「3/15 シンポジウム参加」とし, 本文に氏名, 所属先, 職業を明記して, devsci-koukai140315@isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp まで送信ください。

参加費: 無料

=====

プログラム -----

司会: 長井 志江 (大阪大学工学研究科 特任准教授)

13:00-13:10

開会の挨拶

小西 行郎 (同志社大学心理学研究科 教授)

13:10-13:40

講演 1 「発達科学の新たなアプローチ」

國吉 康夫 (東京大学情報理工学系研究科 教授,
科学研究費補助金新学術領域研究「構成論的発達科学」領域代表)

13:40-14:10

講演 2 「当事者から見た発達障害」

熊谷 晋一郎 (東京大学先端科学技術研究センター 特任講師)

14:10-14:40

講演 3 「胎児期からの心の発達」

明和 政子 (京都大学教育学研究科 准教授)

14:40-15:00

休憩

15:00-16:30

パネルディスカッション「発達の原理と障害の理解に向けて」

- 司会 -

浅田 稔 (大阪大学工学研究科 教授)

- パネリスト -

安西 祐一郎 (独立行政法人日本学術振興会 理事長)

大東 祥孝 (京都大学 名誉教授, 周行会湖南病院 顧問)

國吉 康夫 (東京大学情報理工学系研究科 教授)

小西 行郎 (同志社大学心理学研究科 教授)

乾 敏郎（京都大学情報学研究科 教授）

- ポジショントーク -

15:00-15:20 安西 祐一郎（独立行政法人日本学術振興会 理事長）

15:20-15:40 大東 祥孝（京都大学 名誉教授，周行会湖南病院 顧問）

16:30-16:40

閉会の挨拶

乾 敏郎（京都大学情報学研究科 教授）

主催：文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究

「構成論的発達科学 —胎児からの発達原理の解明に基づく発達障害のシステムの理解—」

<http://devsci.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp>